

NSW

2024年3月期
決算説明

2024年5月13日

Humanware By Systemware

目次

1. 2024年3月期決算概況

2. 2025年3月期計画

3. 事業トピックス

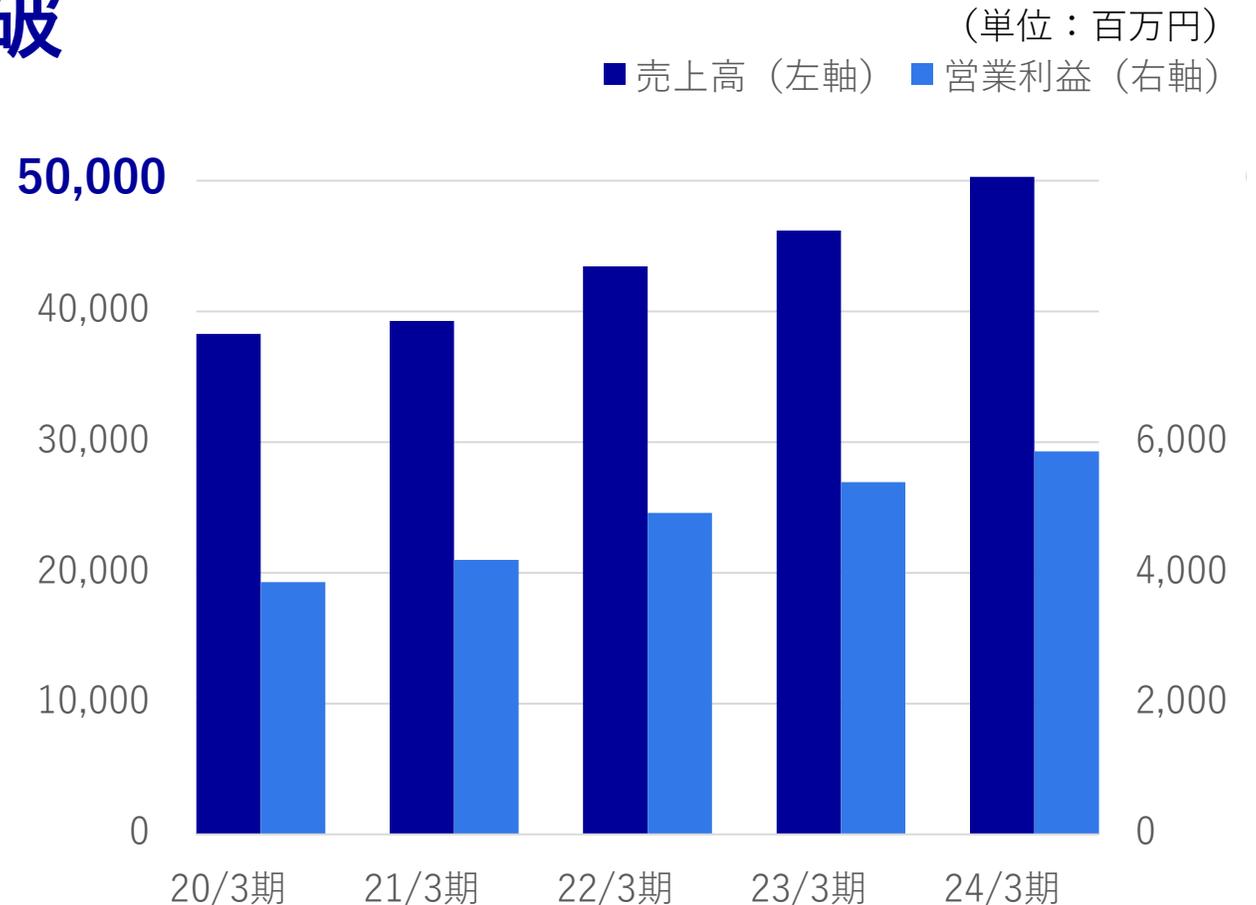
1. 2024年3月期決算概況

決算ハイライト1

過去最高業績を更新、12期連続增收増益 連結売上高500億円を突破

売上高
50,299 百万円
前年同期比 **+8.9** %

営業利益（率）
5,862 百万円
(**11.7** %)
前年同期比 **+8.8** %
(**0.0p**)



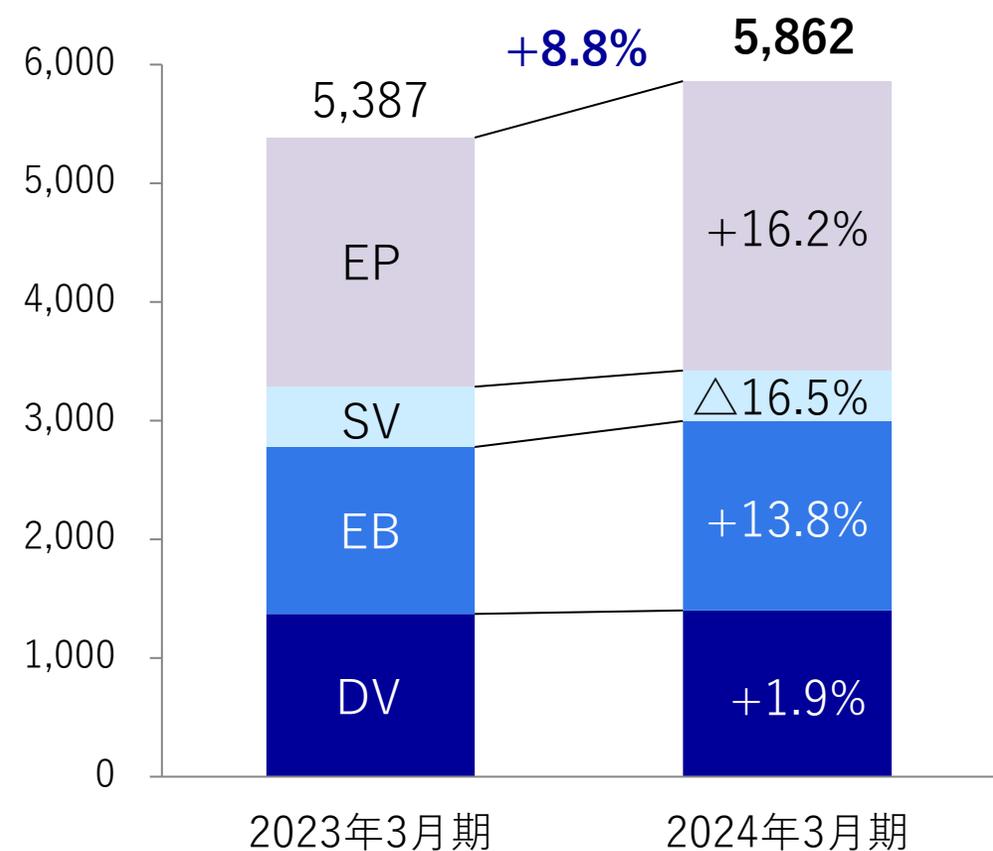
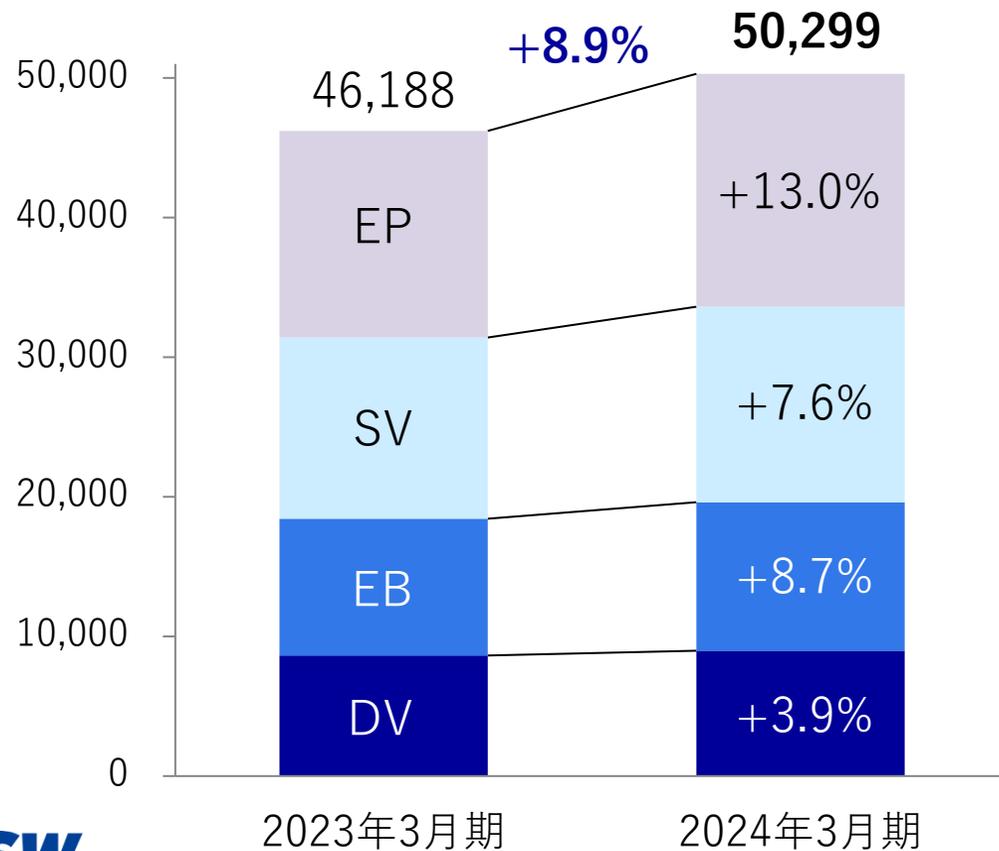
決算ハイライト2

セグメント別売上・利益推移

(単位：百万円)

● 売上高

● 営業利益



連結業績 概要

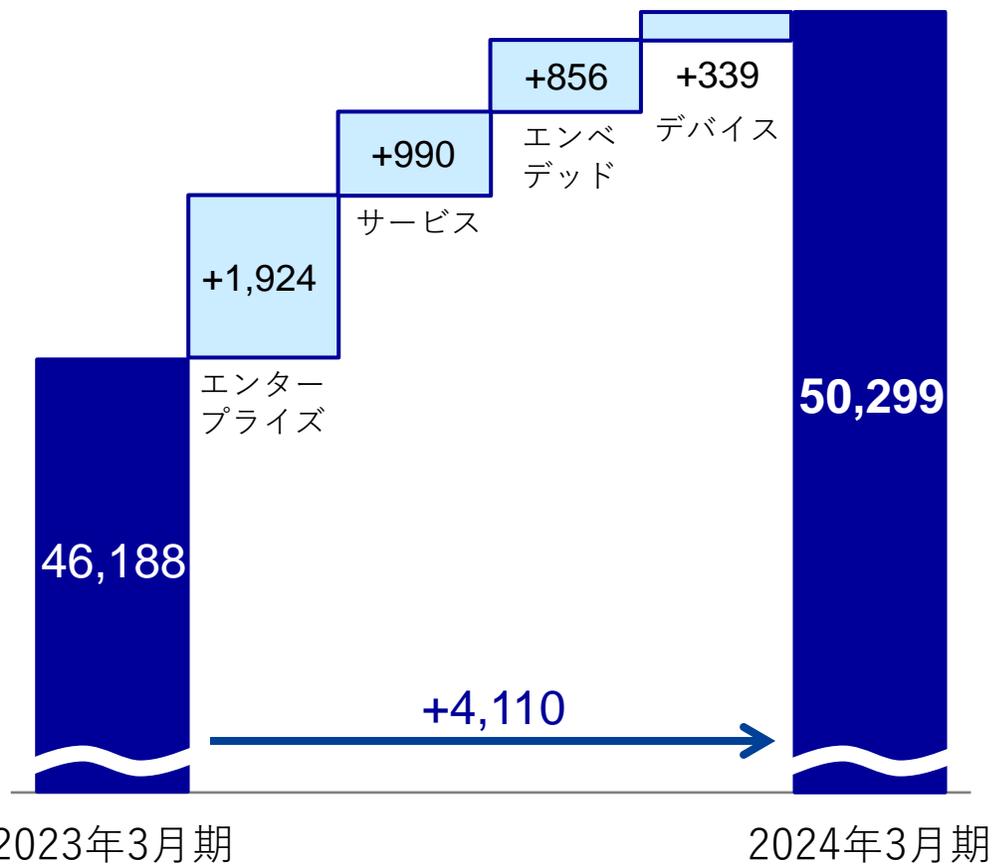
(単位：百万円)

	2024年3月期 実績	計画比		前年同期比		計画	2023年3月期 実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	50,299	+1,799	+3.7%	+4,110	+8.9%	48,500	46,188
営業利益	5,862	+262	+4.7%	+474	+8.8%	5,600	5,387
┌ 同率	11.7%	+0.1p	/	0.0p	/	11.5%	11.7%
経常利益	5,940	+290	+5.1%	+498	+9.2%	5,650	5,442
┌ 同率	11.8%	+0.2p	/	0.0p	/	11.6%	11.8%
当期純利益	4,287	+337	+8.5%	+197	+4.8%	3,950	4,090
┌ 同率	8.5%	+0.4p	/	△0.3p	/	8.1%	8.9%
受注高	50,784	/		+2,003	+4.1%	/	
受注残高	18,126			+480	+2.7%		
							17,645

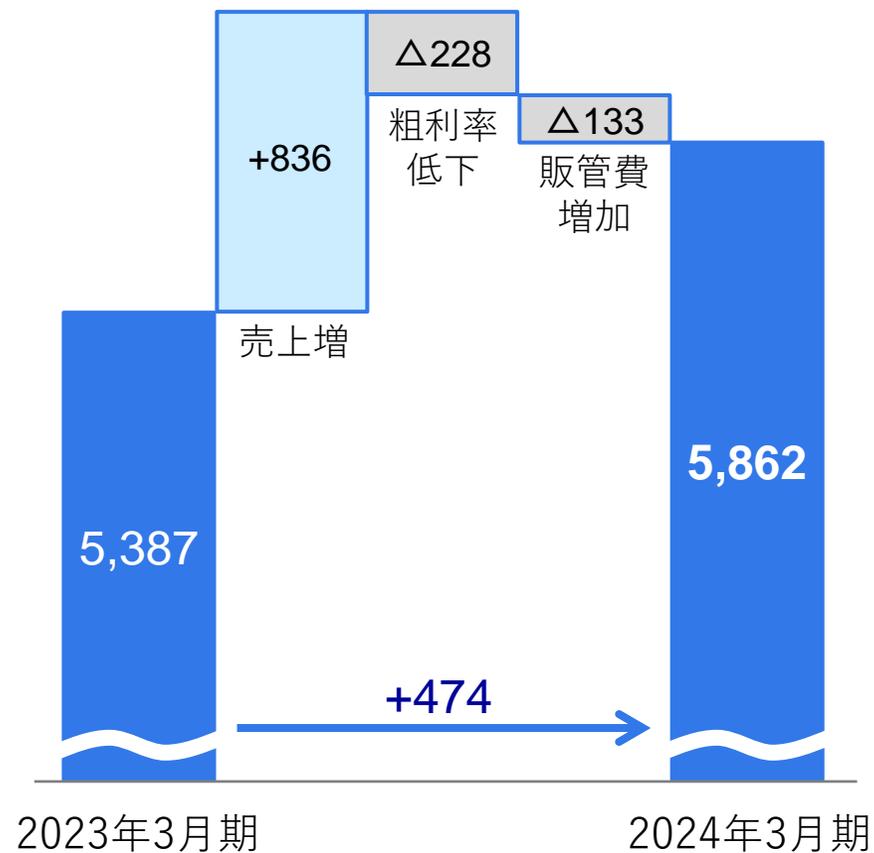
売上高・利益の増減要因（前年同期比）

（単位：百万円）

● 売上高



● 営業利益



エンタープライズソリューションセグメント 概況

(単位：百万円)

	2024年3月期 実績	計画比		前年同期比		計画	2023年3月期 実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	16,701	+801	+5.0%	+1,924	+13.0%	15,900	14,777
ビジネスソリューション	5,959	/		+628	+11.8%	/	
金融・公共ソリューション	7,857			+487	+6.6%		
システム機器販売	2,884			+808	+39.0%		
営業利益	2,438	+428	+21.3%	+339	+16.2%	2,010	2,099
同率	14.6%	+2.0p	/		+0.4p	12.6%	14.2%
受注高	16,745	/			+557	+3.4%	/
受注残高	6,304			+39	+0.6%	6,265	

ビジネスソリューション

- 製造業・物流業向け
製造・物流系の自社パッケージ提供を中心に堅調推移
- 小売業向け
既存の大手流通顧客の新店対応やインフラ案件の着手などにより大幅伸長

金融・公共ソリューション

- 金融・保険業向け
決済領域におけるカード決済分野の業務が大きく増加
- 官公庁・団体向け
公共・社会保障領域の関連システムなどを取り込み堅調

システム機器販売

- 小売業向け顧客の新店対応などに伴う機器販売が大幅増加

サービスソリューションセグメント概況

(単位：百万円)

	2024年3月期 実績	計画比		前年同期比		計画	2023年3月期 実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	13,985	+585	+4.4%	+990	+7.6%	13,400	12,995
デジタルソリューション	4,038	/		+904	+28.8%	/	
クラウド・インフラサービス	9,947			+86	+0.9%		
営業利益	425	△354	△45.5%	△84	△16.5%	780	509
同率	3.0%	△2.8p	/		△0.9p	5.8%	3.9%
受注高	14,103	/			+296	+2.1%	/
受注残高	6,451			+117	+1.9%		

デジタルソリューション

- IoT・AI
IoT分野の顧客深耕により堅調推移したことで事業の安定化に注力
- WEB・EC
既存顧客案件の不採算化によりセグメント利益が減少

クラウド・インフラサービス

- クラウド
堅調なクラウド利用の需要に伴いパブリッククラウド中心とした構築案件が増加
- インフラ・その他サービス
引き続きデータマネジメント分野が好調推移し拡大

エンベデッドソリューションセグメント 概況

(単位：百万円)

	2024年3月期 実績	計画比		前年同期比		計画	2023年3月期 実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	10,650	+550	+5.5%	+856	+8.7%	10,100	9,794
営業利益	1,598	+168	+11.8%	+193	+13.8%	1,430	1,404
同率	15.0%	+0.8p		+0.7p		14.2%	14.3%
受注高	10,894			+1,134	+11.6%		
受注残高	2,590			+243	+10.4%		

組み込み開発

- オートモーティブ
SDVの需要増により案件増加と対応領域の拡大に取り組む
- モバイル
キャリア向け開発や金融関連アプリ開発などが増加
- 設備機器
放送設備関連やエネルギー分野などが好調を維持
- 通信
ネットワーク機器開発増加も5G開発の収束に伴い横ばい

デバイスソリューションセグメント概況

(単位：百万円)

	2024年3月期 実績	計画比		前年同期比		計画	2023年3月期 実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	8,961	△159	△1.5%	+339	+3.9%	9,100	8,621
営業利益	1,400	+20	+1.5%	+26	+1.9%	1,380	1,373
同率	15.6%	+0.5p	/	△0.3p	/	15.2%	15.9%
受注高	9,040	/		+14	+0.2%	/	
受注残高	2,780			+79	+2.9%		

デバイス開発

- 一部既存顧客の案件谷間などが影響したものの、半導体設計開発評価を中心とする主要事業は堅調に増加
- 慢性的なリソース不足解消に向けパートナー企業の活用や海外リソースの活用も本格化
- 海外企業からの案件獲得も目指し新規開拓を進める

連結貸借対照表

2023年3月期末



総資産 40,663百万円

2024年3月期末



総資産 44,138百万円

主な要因（百万円）

【資産】

現金及び預金の増加	+3,459
売掛金の増加	+445
投資有価証券の増加	+600

【負債】

未払消費税等の増加	+125
未払費用の増加	+173
未払法人税等の減少	△275

【純資産】

当期純利益	+4,287
配当金の支払	△893

(参考) PBR、自己資本比率等の推移

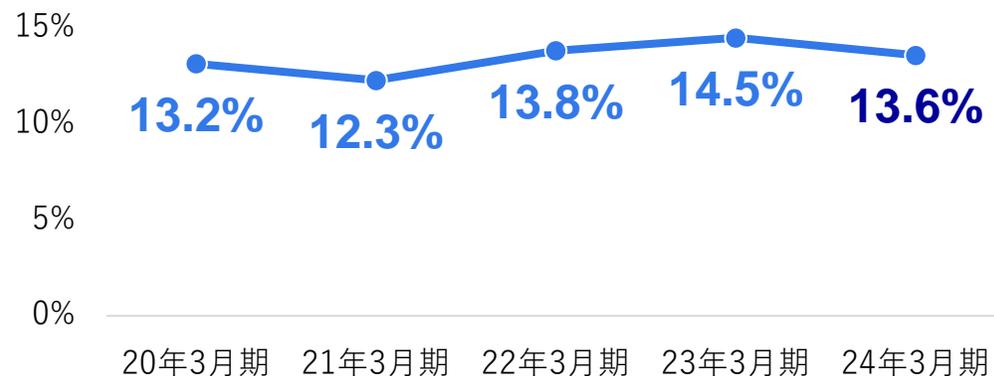
PBR



自己資本比率



ROE



ROA



2. 2025年3月期計画

連結業績予想

(単位：百万円)

	2025年3月期 計画	前年同期比		2024年3月期 実績
		増減額	増減率	
売上高	52,000	+1,700	+3.4%	50,299
営業利益	6,000	+137	+2.3%	5,862
┌ 同率	11.5%	△0.1p	/	11.7%
経常利益	6,050	+109	+1.8%	5,940
┌ 同率	11.6%	△0.2p	/	11.8%
当期純利益	4,175	△112	△2.6%	4,287
┌ 同率	8.0%	△0.5p	/	8.5%

セグメント別業績予想 1

(単位：百万円)

		2025年3月期 計画	前年同期比		2024年3月期 実績
			増減額	増減率	
エンタープライズ ソリューション	売上高	16,800	+98	+0.6%	16,701
	営業利益	2,220	△218	△9.0%	2,438
	同率	13.2%	△1.4p		14.6%
サービス ソリューション	売上高	15,300	+1,314	+9.4%	13,985
	営業利益	1,010	+584	+137.6%	425
	同率	6.6%	+3.6p		3.0%

セグメント別業績予想 2

(単位：百万円)

		2025年3月期 計画	前年同期比		2024年3月期 実績
			増減額	増減率	
エンベデッド ソリューション	売上高	10,700	+49	+0.5%	10,650
	営業利益	1,520	△78	△4.9%	1,598
	同率	14.2%	△0.8p		15.0%
デバイス ソリューション	売上高	9,200	+238	+2.7%	8,961
	営業利益	1,250	△150	△10.7%	1,400
	同率	13.6%	△2.0p		15.6%

剰余金の配当（増配）について

- 期末配当を25円増額し、1株当たり30円から55円とする（年間配当85円）

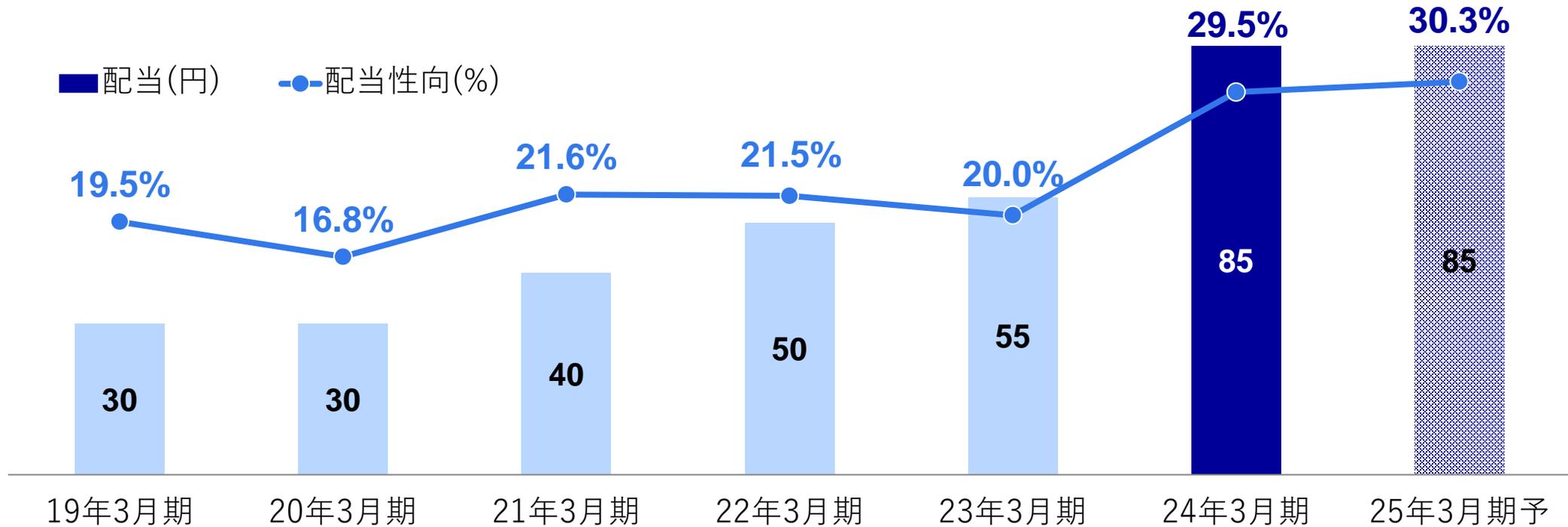
	決定額	直近の配当予想 (2023年5月15日)	前年実績 (2023年3月期)
基準日	2024年3月31日	2024年3月31日	2023年3月31日
1株当たり配当金	55円00銭	30円00銭	30円00銭
配当金総額	819百万円	—	446百万円
効力発生日	2024年6月25日	—	2023年6月22日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

- 2024年3月期の通期連結業績で、1つの目標としていた連結売上高500億円を達成
- 一定の経営基盤を確立したことを踏まえ、従来以上に株主還元に対する当社の姿勢を明確化

配当予想

- 配当性向30%を当面の目安として、財務状況および業績に応じた安定的かつ継続的な配当を実施

一株あたり配当金・連結配当性向の推移



コーポレートガバナンス強化①

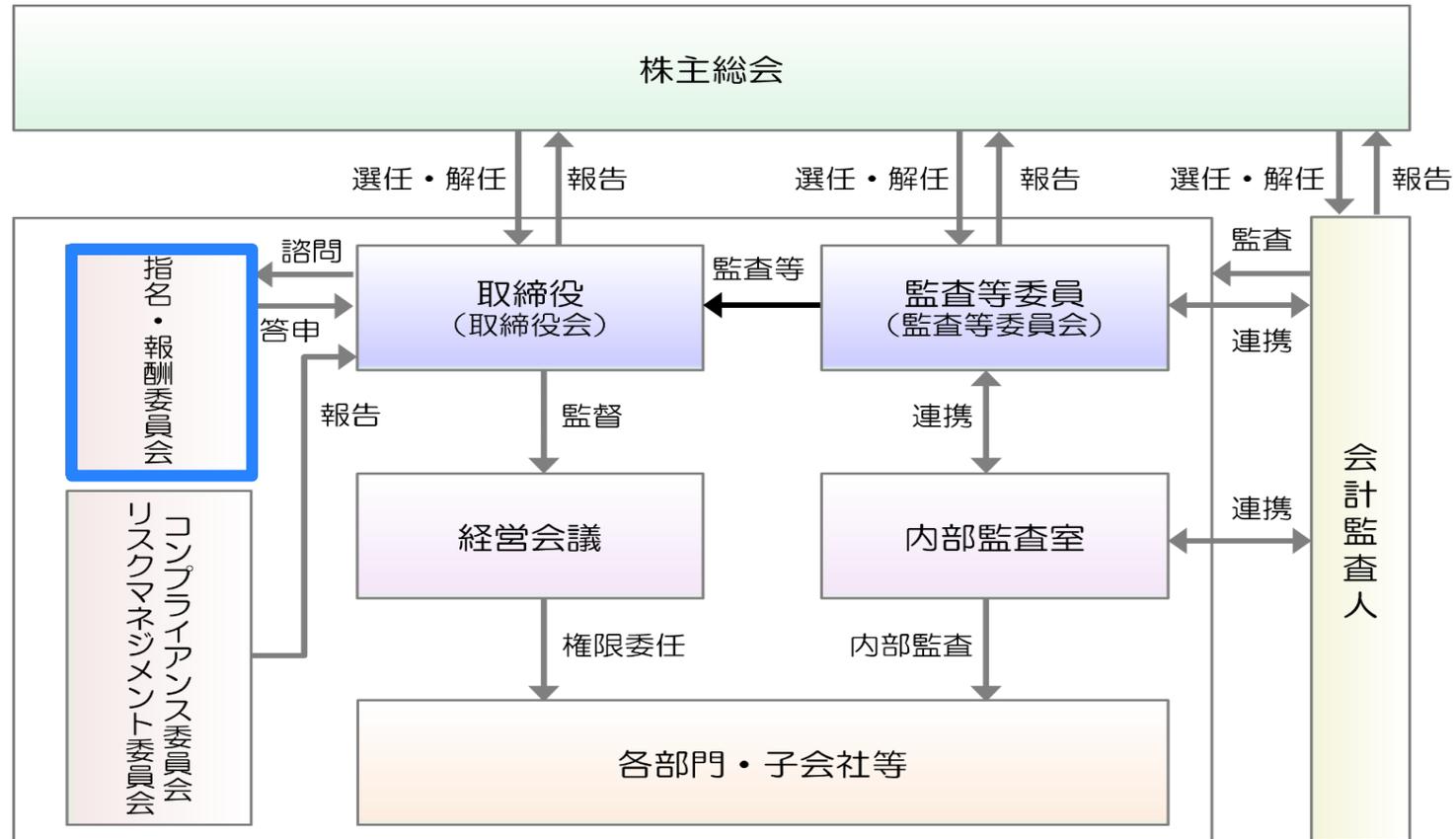
- 女性の新任取締役候補者の1名選任を内定
(6月24日の株主総会を経て正式決定予定)

	従前	2024年6月24日
取締役全体(うち女性数)	8名(2名)	<u>9名(3名)</u>
社外取締役	3名	<u>4名</u>
監査等委員	4名	4名
社外取締役比率	38%	<u>44%</u>
女性比率	25%	<u>33%</u>

- ・ 社外取締役の増員により経営監督機能の強化を図る
- ・ 2030年目標の**女性役員比率30%以上**を先行達成

コーポレートガバナンス強化②

- 4月の取締役会で指名・報酬委員会を設置



- ・ 取締役の指名・報酬等に関する手続きの公正性、決定プロセスの透明性や客観性を強化し、コーポレートガバナンスの充実を図る

コーポレートガバナンス強化③

- 投資有価証券の状況

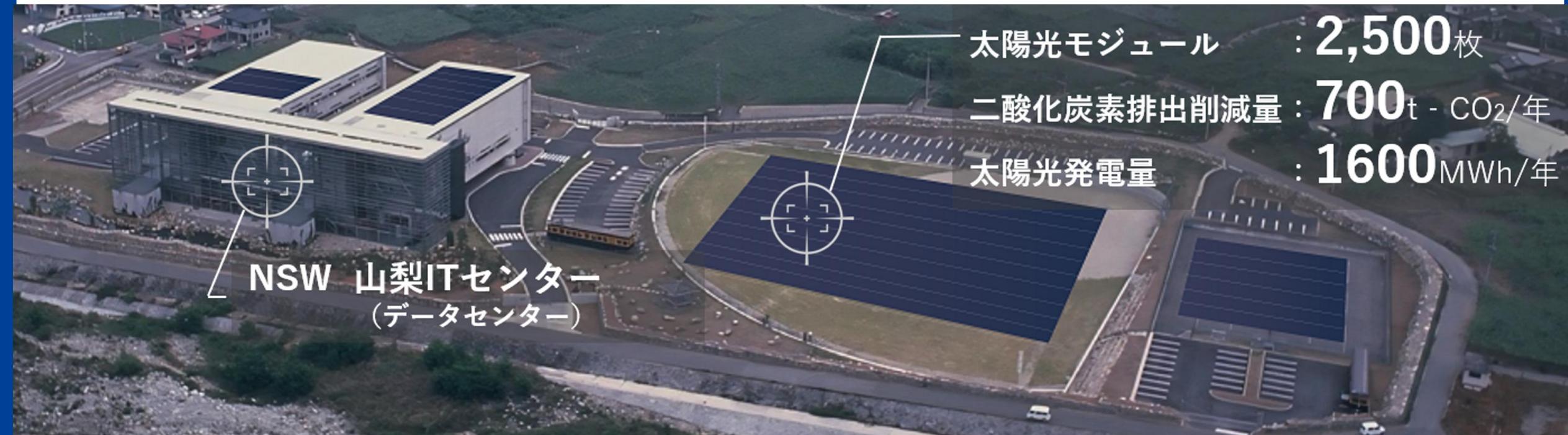
	2023年3月期 (簿価ベース)	2024年3月期 (簿価ベース)	目的
既存資産	158百万円	<u>1百万円</u>	<u>政策保有株式の实质解消</u>
新規取得	—	<u>757百万円</u>	<u>ビジネス強化を目的とした戦略投資</u>

- 遊休不動産の売却

山梨ITセンターの敷地の一部を売却し、保有資産を圧縮（450百万円）

サステナビリティへの取り組み

- 再生可能エネルギー活用による持続可能な社会への貢献

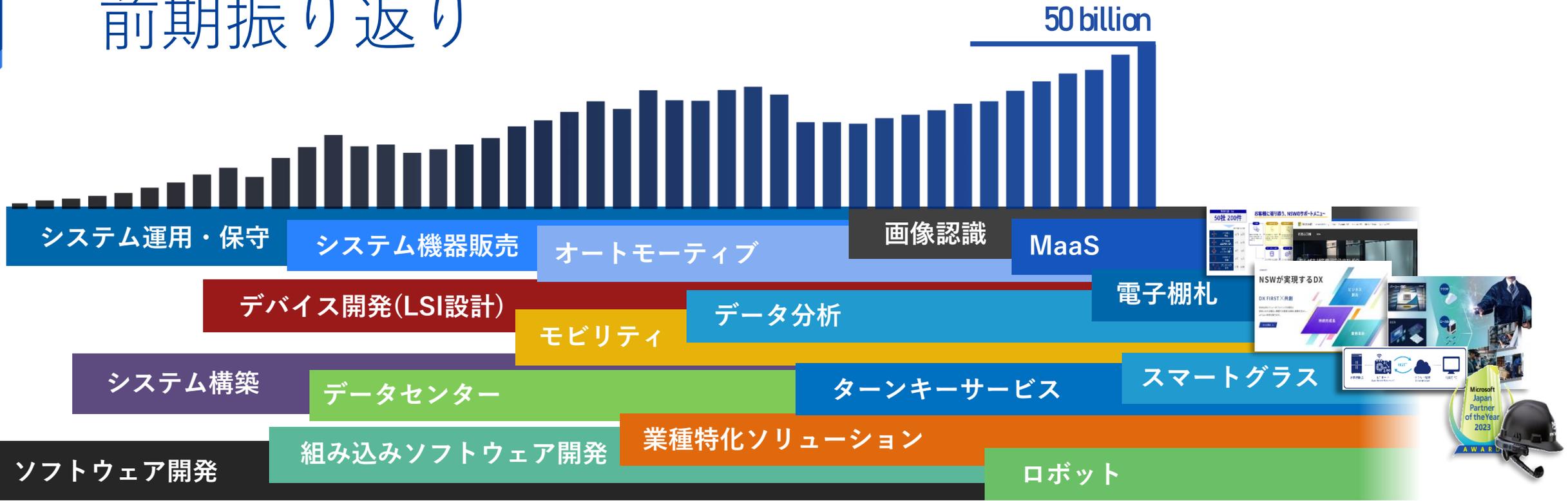


- ・ 2024年10月中旬より開始予定
- ・ データセンターの電力使用量の約2、30%を賄う
- ・ 非常時には地域住民向けに再エネ電力の一部を提供できるよう計画
- ・ 当社デジタルサービスと連携させ、お客様向けプランとしても提供

3. 事業トピックス

～中期経営計画最終年度 注力施策～

前期振り返り



【前期活動実績(抜粋)】

Azure Sphereを搭載したIoT ボードがホシザキの新サービスに採用

日本発クラウド型データ連携プラットフォーム「HULFT Square」の提供を開始

インフォマティカ・ジャパンとの連携をより強化し、ゴールドパートナーとしてクラウドサービス提供を開始

産業用スマートグラス「RealWear Navigator」 国土交通省 新技術情報提供システム (NETISNETIS) に登録

市場環境と注力施策

国内にデジタル基盤を構築することで、少子高齢化の中でのDX・GXを達成するとともにCE型社会、レジリエントな社会を構築し、高度なデジタル社会を実現

モダナイゼーション

DX FIRST × 共創

ウェアラブルデバイス

GX化・CE型社会

デジタル社会

レジリエントな社会

次世代のデジタル社会像

IoT

デジタル起案の構築

基盤技術の確保

継続的な国内投資

次世代メモリ

スパコン



量子コンピュータ

AIコンピュータ

スタートアップ活性化

経常収支の改善

デジタル人材の育成

画像認識

デジタル社会実装基板の整備

全ての産業

IOWN

生成AI

地域デジタル産業

クラウド

デジタル産業



サイバーセキュリティ



通信機器

デジタルインフラ



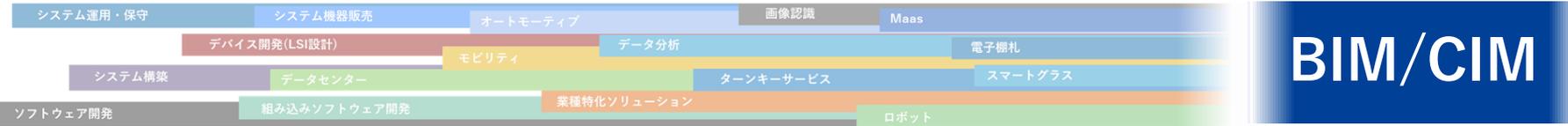
データセンター

ロボット

半導体(集積回路)

BIM/CIM

BIM/CIM分野参入に向けた取り組み

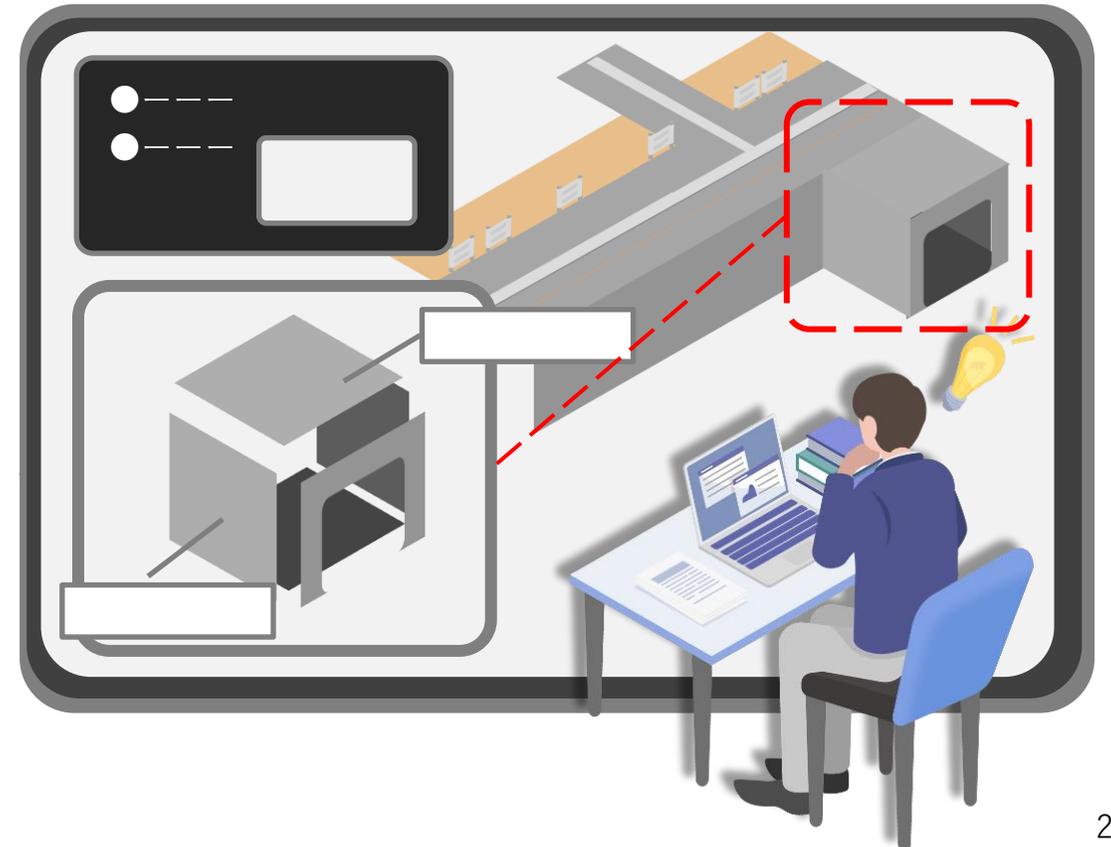


- ・土木建設業界標準CADで設計された2D、3Dモデルを共有閲覧・操作可能なクラウド環境の構築
- ・専用CAD不要、CAD設計ではない3DモデルもWEB共有・閲覧が可能

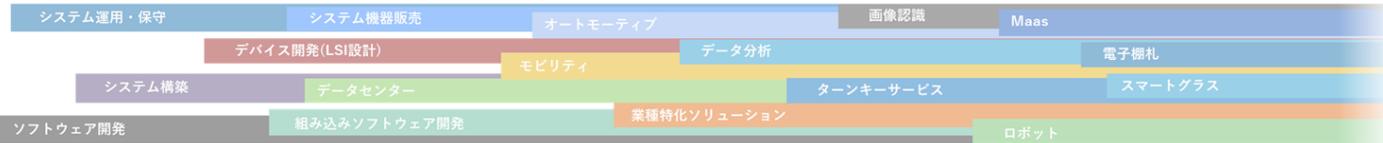
研究開発取り組み

- ・Web上でのスムーズな3Dモデル表示・操作
- ・3Dデータを利用した損傷発見、損傷進行可視化への応用
- ・土木建築業界での標準CADとのリンク
- ・関連BIM/CIMサービス、システム開発への参画
- ・クラウド、3D関連処理開発技術者の育成

3Dモデル・AIを活用したインフラ点検の支援ソリューション



衛星データを用いた地形解析の取り組み



画像認識

- ・ 干渉SARを利用した衛星データ解析

SAR(合成開口レーダー)衛星から発するマイクロ波反射の位相差の干渉を検出
同地点の数ミリ～数センチの変化を観測

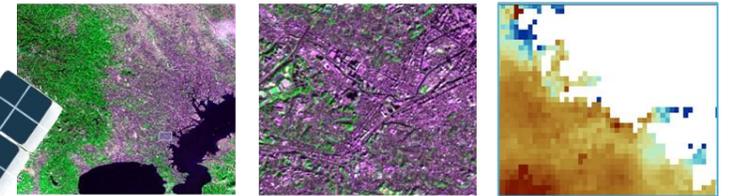
- ・ 機械学習を用いた解析

衛星データ・ドローン撮影より広域の地滑り予測
火山、土砂移動、斜面災害監視
洪水等の水害予測 etc...

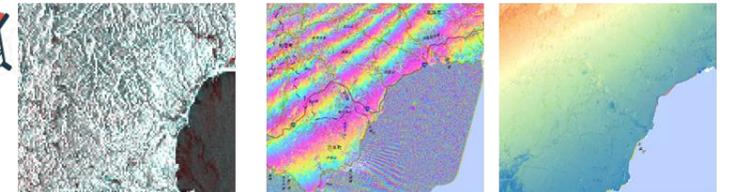
従来の土木技術者による経験的知見や暗黙知の判断に対し
衛星データ+AI解析で短時間、均一な精度の解析を実現
防災・土木工事のデータ活用を目指す



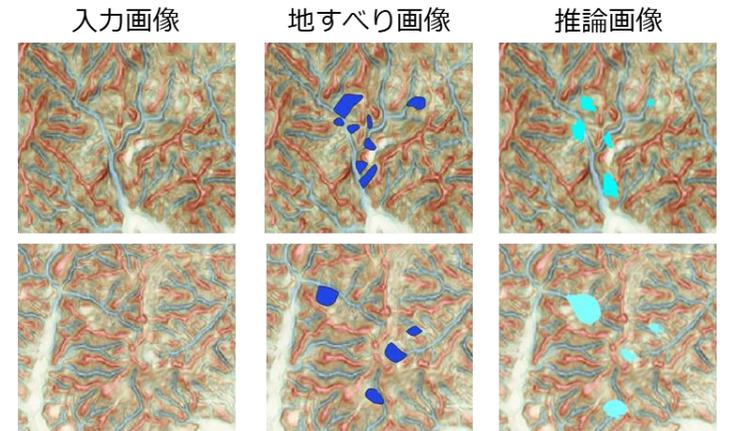
植生、地盤沈下解析例



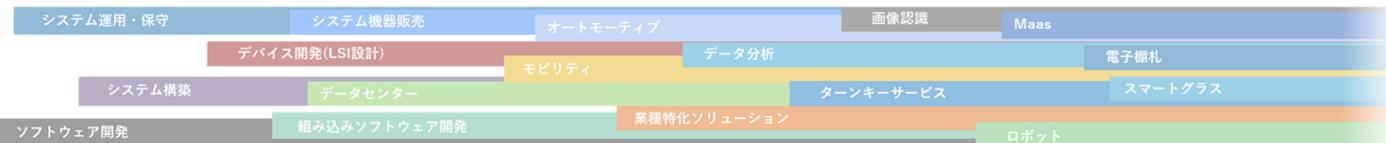
干渉SAR解析例



機械学習解析例



汎用ロボット開発フレームワークの取り組み



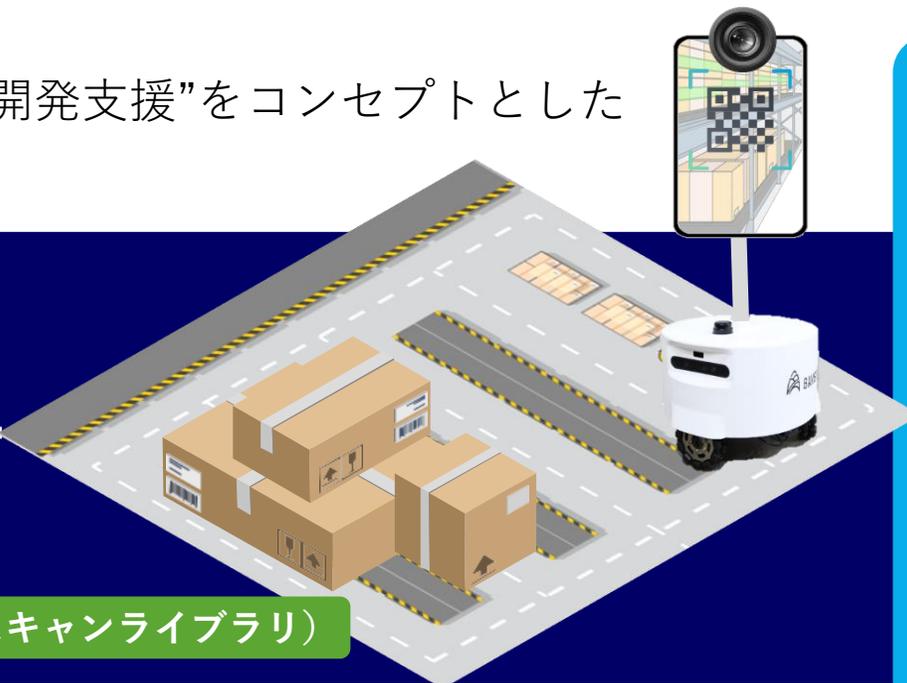
ロボット

- ・ 略称「GEBOTSフレームワーク」として、“省力・省人化”、“無人化”、“IoT化”と“効率的開発支援”をコンセプトとしたロボット開発用ソリューションを提供

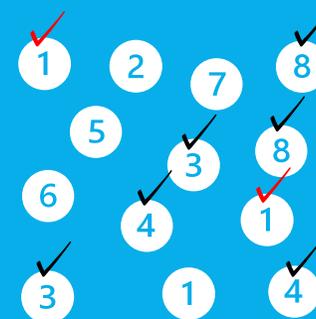
取り組み

- ・ クラウドを活用した監視システム検討
- ・ 車両、センサメーカーとの連携強化
- ・ 多様な事業分野への展開
- ・ 他ソリューションとの連携実証実験

GEBOTS x MCSL (マルチコードスキャンライブラリ)



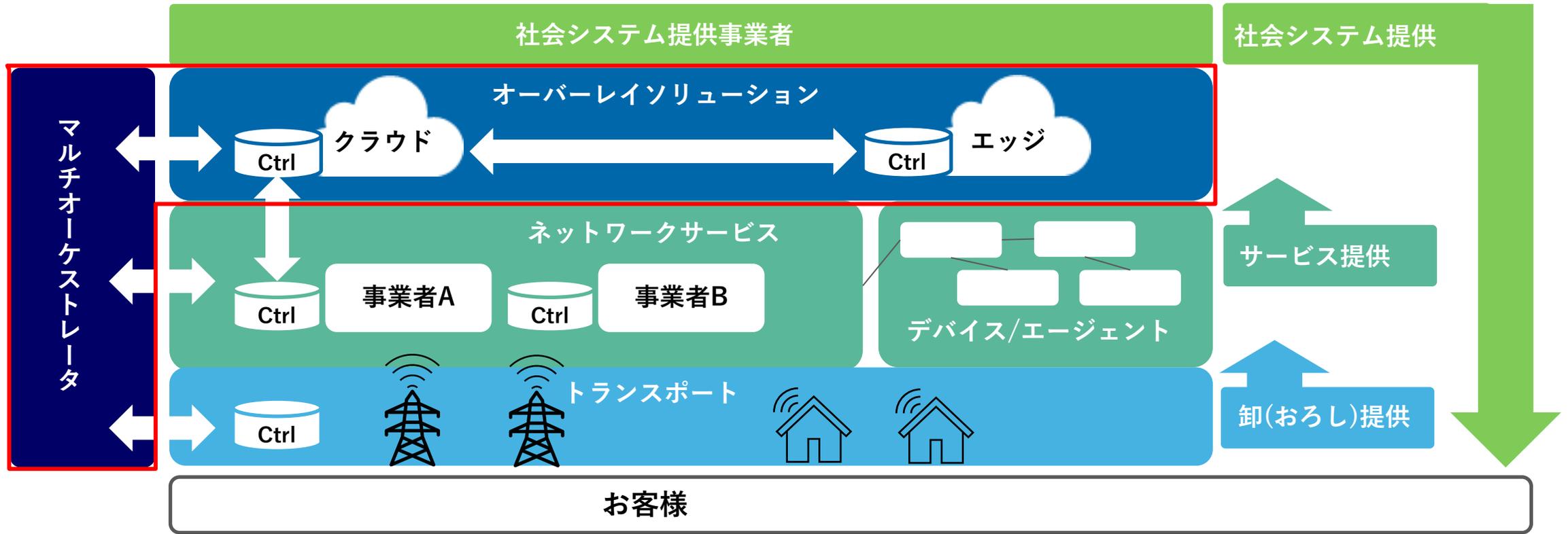
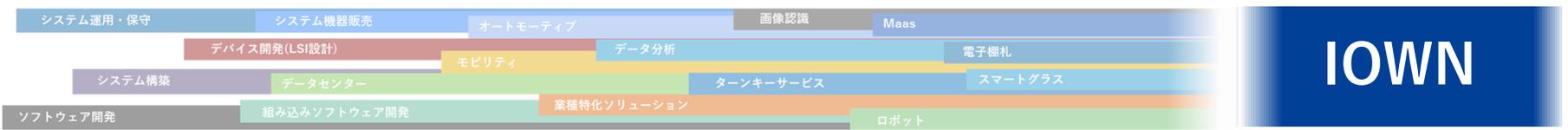
- ✓ 検品 1
- ✓ 仕分け 3 4 8



「GEBOTSフレームワーク」を複数のバーコード／QRコードを同時に素早く正確に読み取りする「MCSL」と組み合わせる事で倉庫での在庫管理作業を自動化する事が可能

その他
棚卸、メーター管理
ピッキング支援etc..

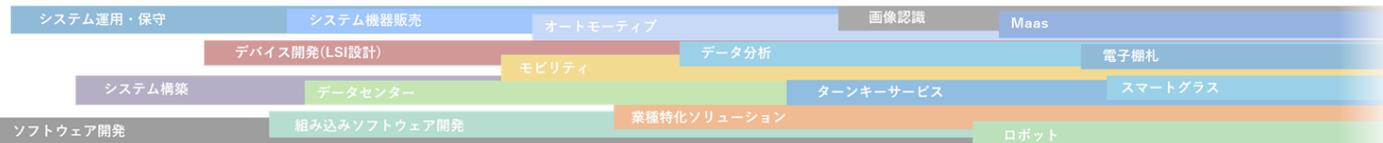
IOWN(Innovative Optical and Wireless Network)への取り組み



マルチオーケストレーション機能をハブとしてレイヤの異なる複数のリソースを最適統合
ネットワークの設定・連携・管理・運用が一元管理に向かう。

活用技術：ネットワーク設計構築・通信プロトコル・監視制御・仮想化技術・自動化技術

モダナイゼーションへの取り組み



モダナイゼーション

COBOLモダナイゼーションソリューションとして株式会社Scalar社との共同検証・研究を推進

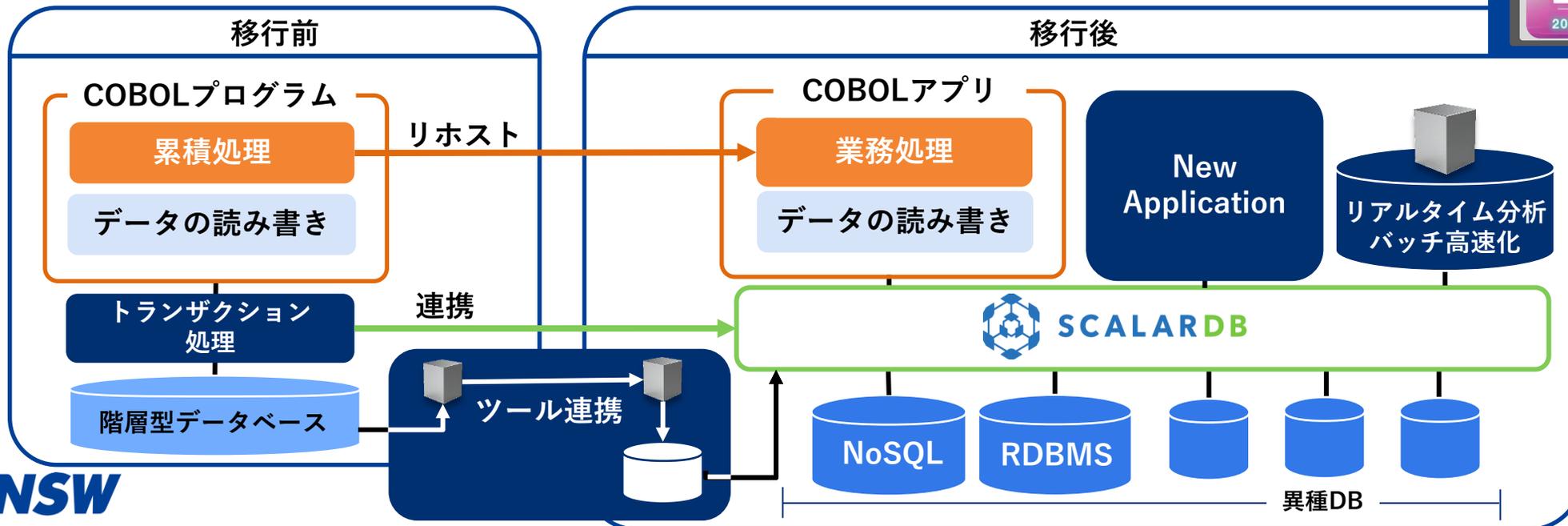
大規模データに向くNoSQLは、トランザクション処理をサポートしていないものが多数を占めるが異種間DBでもNoSQLでもトランザクション処理が可能

db tech showcaseに登壇



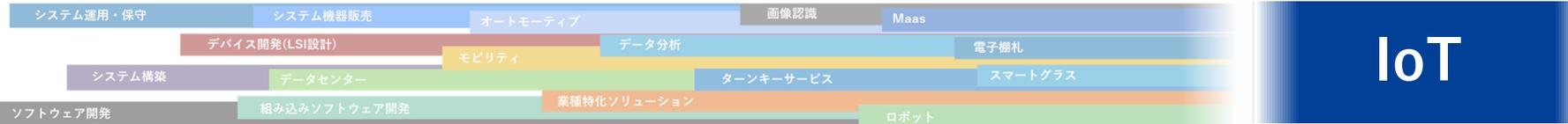
取り組み

移行後の将来像を見据えたモダナイゼーション対応



近期中
正式リリース予定

スマート製品(IoT)への取り組み



ホシザキ株式会社新サービス「ホシザキ コネクトWi-Fi」でAzure Sphereを利用したIoTボードが採用

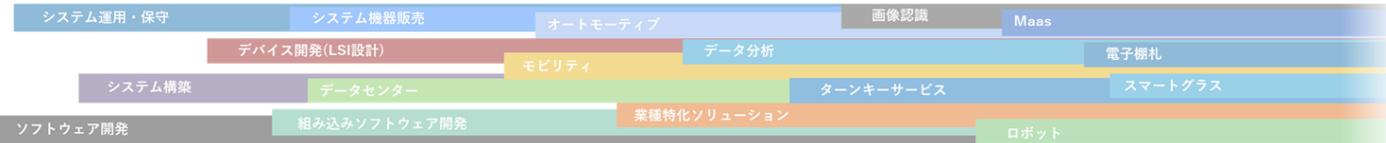


お客様製品のマイコンから情報を取得し、Wi-Fi経由でクラウドにデータを送信。IoT エッジに必要な機能がすべて搭載されているMicrosoft社のAzure Sphereを活用することで、セキュアな環境、かつ低コストでの提供を実現。

取り組み

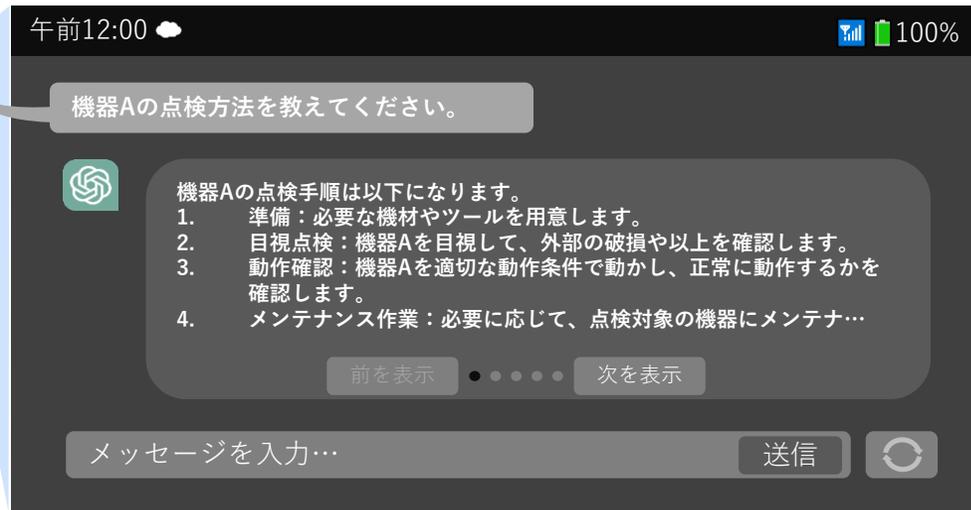
- ・ 各種クラウドサービスの積極的な活用推進
- ・ ベンダーアライアンスのさらなる強化と併せたスマートプロダクト事業の推進
- ・ 製販一体による案件獲得・顧客へ寄り添ったサービスの提供

RealWear × 生成AI 活用取り組み



ウェアラブル
デバイス

RealWearより音声で質問を入力し、生成AIが学習した手順書やデータから文書と図で回答
現場の騒音下でも強力なノイズキャンセリングによりAIに正確に質問をすることが可能



スマートグラスで業務改善！遠隔支援で
お客様の『お困りごと』を早期解決

課題

- 現場とオフィスの往復により、タイムロスが発生
- 発生した事象の分析・再発防止策の検討ができていない

✓ 解決策

- 現場の状況を、遠隔地のオフィスに音声と映像で共有
- 現場作業員に対して、リアルタイムで作業指示を送る

効果

- 有識者や他部門からの遠隔支援により、現場トラブルを早期解決
- 遠隔支援により、経験の浅い技術者でも現場対応が可能
- 現場状況を映像に記録することで、海外のグループ会社にナレッジを共有

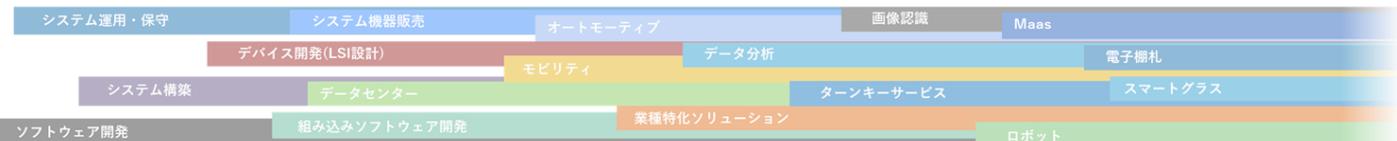


株式会社キッツ様
導入事例をHPにて掲載中

今後の取り組み

- ・ PoCの提供から継続した機能拡張、品質向上
- ・ 会話データからAIが自動学習→文章化、ナレッジの蓄積
- ・ 撮影機能を利用した結果判定、作業ミス防止

生成AI活用への取り組み

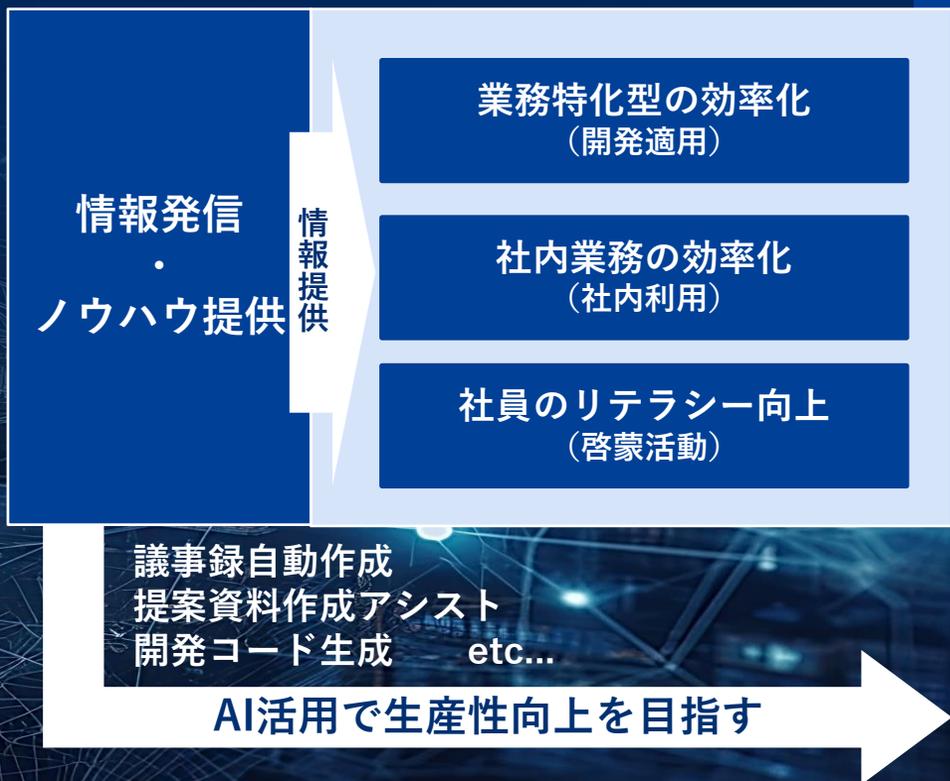


生成AI

取り組み

セキュアな環境で業務/開発への生成AI活用を検討

取り組み	活動内容	目標
・ 開発適用 設計/製造/テスト	各開発工程での活用	システム開發生産性向上 ノーコード・ローコード推進
・ 開発適用 コード変換 Code to Doc	レガシーコードの マイグレーション	システム開發生産性向上 マイグレーションサービス
・ 社内利用	実運用環境の構築 運用整備	業務効率化、生産性向上 ガイドライン作成
・ 啓蒙 コミュニティ活動	情報発信活動 ワークショップ 導入支援	生成AI活用率の向上 リテラシー向上



The background features a complex network of white lines connecting various points, creating a mesh-like structure. The lines are thin and light gray, set against a light gray background. The overall effect is that of a digital or neural network.

NSW

Humanware By Systemware